

## 民族薬物資料館

Museum of Materia Medica

館長（教授） 森田 洋行      Curator / Prof. Hiroyuki Morita  
技能補佐員 出口 鳴美      Research Assist. Narumi Deguchi

### ◆目的

世界の諸民族の伝統薬物を蒐集、保存、展示するとともに、それらの学術情報を収載したデータベースを構築し、伝統薬物に関する共同研究を推進する。

### ◆活動概要

#### I) 民族薬物データベース (ETHMEDmmm) の構築

当資料館には、和漢薬、アーユルヴェーダ生薬、ユナニー生薬、タイ生薬、インドネシア生薬、チベット生薬など約 31,000 点の生薬標本が保存されている。これらに関するデータベース（以下、DB）について順次、生薬標本情報並びに学術情報を更新、整理している。

#### II) 一般公開

第 35 回民族薬物資料館一般公開：令和 3 年 11 月 7 日（午後 1 時 30 分～午後 5 時）

本学和漢医薬学総合研究所の小松かつ子教授を講師として、『民族薬物資料館アーカイヴス with 私』という演題で特別講演を開催した。講演後、同教授による資料館案内を開催した。コロナウイルス感染症対策のため、完全予約制にして参加を募り、講演会場においても座席数に余裕をもたせるなど工夫を凝らした。来館者は 33 名。

### ◆著書（翻訳、編集、分担・共同執筆を含む）

- 1) Win NN, Morita H. Progress in the Chemistry of Organic Natural Products 114. Kinghorn A.D., Falk H., Gibbons S., Kobayashi J., Asakawa Y., Liu J-K. eds. Singapore: Springer; 2021 May. Bioactive Compounds from Medicinal Plants in Myanmar; p.135-251.

### ◆その他

- 1) 東京人。「東洋医学ミュージアム」；2021 Jul 3；p 101. 施設紹介.
- 2) 健康・機能性食品の基原物質事典 一食薬区分（非医）：動物由来物等・その他（化学物質等）編一. 2021 Sep 15；p 22. 生薬画像提供.
- 3) 小松かつ子, 出口鳴美. 現地学習（民族薬物資料館）. 令和 3 年度富山市民大学講座「生活医学薬学を学ぶ」；2021 Nov 29；富山大学.

### ◆記録

#### I) 見学者（2021 年 4 月 1 日 ～2022 年 3 月 31 日）

来館者総数：205 名（日本人 205 名）

案内総回数：21 回（日本人 21 回）

【国内】 文部科学省, 国公立大学 4 校, 公立高校 1 校, 富山大学公開講座, 製薬企業他

#### II) 民族薬物データベース（2021 年 4 月 1 日 ～2022 年 3 月 31 日）

アクセス数：34,765 件

**Ⅲ) 証類本草データベース (2021年4月1日 ~2022年3月31日)**

アクセス数 : 3,420件

専門検索登録者数 : 32名